

令和3年度 第5回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備検討小委員会 議事概要（概要）	
開催日時	令和4年2月18日（金） 10：00～12：00
場 所	長野市役所第二庁舎 282 会議室
出席者	[委 員] 小山委員長（WEB）、堀江副委員長、岡本委員、桐澤委員、倉田委員、古後委員（WEB）、下崎委員（WEB）、正村委員、徳永委員、丸山委員（WEB） [事務局（公共施設マネジメント推進課）] 中村公有財産活用局長、柳澤課長、長谷川課長補佐、山岸課長補佐 白澤主査 [スポーツ課] 駒村主幹、高池課長補佐
議 事	（1）国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備に向けた提言（修正案）について

【次 第】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事

【審議事項】

- （1）国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備に向けた提言（修正案）について
- 4 閉 会

【議事における主な意見】

- （1）国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備に向けた提言（修正案）について
 - ユニバーサルデザインの※印の注釈についてだが、「健常者も含めたような」という表現が気になる。子供から高齢者まで全ての人の目線に合わせるというような表現が良いのではないか。
 - 5Pの下から3行目に「スポーツとの関わり方を見つけること～」とあるが、前ページで、「スポーツを楽しめる環境を整える～」とあるので、5Pにおいても「楽しむ・親しむ」といった言葉を入れ、「スポーツとの関わり方を見つけ、楽しむ～」というように、もう一步深めて書いた方が良いのではないか。
 - ユニバーサルデザインの説明の部分だが、障害の害の字について、スポーツ大会の名称では漢字を正式な表記としているが、それ以外はひらがな表記にするべきではないか。
 - 5P下から8行目の「公益性の観点から～」という部分について意味は理解できるが、表現がくどいように感じる。

- 例えば公益性の観点から施設の利用料については利用者が負担するというようなことを入れても良いのではないか。スポーツ施設全体の総論なので、公益性のことも考えているということを簡潔にまとめて表現できたら良い。
- 「さらに」という文言がくどいと感じるのではないか。「例えば～」や「～といった形で」という表現で利用者負担について示してはどうか。「将来的な収支も十分に検討するべきであり、例えば、こういった観点から今まで無料だったものに適切な受益者負担をお願いし、スポーツをやらない方にも不公平感のないようにしていく」というように工夫できれば良いのではないか。
- 「施設利用者はもとより」という文言で文章が分かりにくくなっているように感じる。この文言は削除し、段落の最後の一文を「施設利用者には適切な負担を求めるべき～」とした方がすっきりするのではないか。
- 2つ目の「例えば」は事例なので、「べき」で締めるのは納まりが悪く感じる。
- 「財政負担抑制の観点から」と「公益性の観点から」とが重複しているイメージがある。「さらに公益性を考慮し、普段スポーツ施設を利用しない～」とすれば「財政負担の抑制の観点から～」の意味に繋がるのではないか。
- 2段は相互に関連し合っているように感じている。段落を変えて「さらに」というと、一連の財政負担の抑制の部分と、それに関連して施設利用者に対する適切な負担をセットとして捉えることもできるので、段落を変えないやり方もあるかと思う。
- 総論の提言の中で、利用者負担という部分だけを見ると違和感があり、施設使用料を上げると言っているようにも取れるので、その辺りも踏まえて議論いただければと思う。
- 利用者負担を大きな総論の中で明記することに違和感がある。利用料については最後のページの施設全般についての意見の一つと理解していた。
- 「施設の整備に当たっては～」の部分は「公益性の観点～」に繋がっているようにも感じたので、「施設の整備に当たっては、公益性の観点からユニバーサルデザインのへの対応を図る～…さらに受益者負担をして不公平感をなくす…」というようにし、その次に財政負担抑制の観点について書いてはどうか。観点を公益性と財政負担の抑制の2つにし、公益性の観点の中にユニバーサルデザインや複層的な活用と利用しない人からの理解や利用者負担について入れる。ただ、これを公益性と言っていいのかがしっくりこない。
- 公益性は皆の利益ということであり、公の利益のことなので、スポーツ施設を利用する人からお金を取ることが皆の利益というのは確におかしい。利用者負担に関してはそういった空気はあったが、小委員会として合意が取れている事項ではないと考えているので、この段は削らざるを得ないと思っている。
- スポーツ施設を利用しない市民の理解に重きを置くのであれば、なお書きの部分に入れ込み、利用者負担に重きを置かなければ残したらどうか。
- 利用料金のことは特に触れなくて良いと思う。普段スポーツ施設を利用しない市民の理解を得るといった文言は残し、利用者負担については入れなくて良いのではないか。
- この小委員会では合意を得ていないので、削除した方が良いと思う。

- 他市町村の体育館の利用料金についての発言がこの部分に影響しているかも知れないが、発言した際は予算や財政状況について十分に理解がなかった。これが提言として決定事項になってしまうのであれば、利用料金についての発言の意味合いが違ってくるので、載せない方がよい。
- 利用者負担については、スポーツ施設を利用しない市民の理解について何か入れたいとして出た案だと思うが、「求めるべき」という言い方は強く感じるので、「理解を得るために負担を検討する必要があると考える」というように表現を弱めて入れたら良いのではないかと思う。
- 利用者の負担も考えていくという趣旨は残したい。利用者負担は財政負担の抑制にも繋がりが、市民の公益性にも繋がることなので、上手く落とし込むことができればと思う。
- 「施設整備に当たっては」が一番の主語になるので、「整備に当たりこういうことを検討すべきである」というのが結論で、「求めるべきである」となると、小委員会の意見のように読み取れてしまう。“検討すべきだ”という表現のほうがこの委員会の総論であることが分かりやすいと思う。総論でない部分は後ろの個別意見に入れ、端的に「公益性と公共性と財政的な面についてしっかり検討してください」ということを提言しますとすれば、総論部分の納まりが付くのではないか。
- 総論の中で一番言いたいのは、真ん中の「本委員会では、これらの点を～」の4行である。だから“なお書き、また書き、さらに書き”になってしまい、それ以降が弱くなる。だが、「スポーツをしない市民の理解を得ていくため～」についての部分は残したいので、最後の「これらの点を十分に踏まえ～」に入れ込んでしまっても良いのではないか。
- 利用者負担等の細かい部分を削れば、施設を利用しない市民の理解、ユニバーサルデザインの対応、災害発生時等の施設の複層的な活用、財政負担の4つにまとまる。国からの支援等の細かい部分は削り、柱として4つ並べてしまっても良いのではないかと思う。
- 一番大事な部分を真ん中の4行とするならば分かりづらいので、4行の部分から後は同列ではなく、重要な4項目を箇条書きにしても良いように感じる。最後に、「これらの点を十分に踏まえ～」というような形で良いのではないか。
- 屋外市民プールの統廃合について書かれているが、廃止されたことだけが書かれているので、現在何か所あるのかを記載した方がよい。
- 4Pの2の図について、順番を提言に合わせて体育館、プール、グラウンドにした方がよいのではないか。
- 3Pの表のバスケットボールの備考欄に「ホワイトリングのサブを全面使用できれば10面確保可能」とあるが、ホワイトリングがあれば総合体育館の整備は不要だと思われる心配がある。

【閉 会】